



梅雨入りし、蒸し暑い日が続いていますが、「水遊び」「泥遊び」等夏ならではの遊びが始まってきます。子ども達の嬉しそうな声が元気いっぱい響いています。こども園で育てている畑の野菜もぐんぐん背を伸ばし、大きなトマトの実がなりました。まだ緑色のトマトに、びっくりする子どもや、「これから赤くなるんだよね」と生長を楽しみにしている様々な子どもの姿が見られています。5歳児クラスでは、カラスがトマトを食べてしまった出来事を切っ掛けに、子ども達が主体となって、対策を考えたり、かかしやネットを設置しました。こうした出来事や活動の中から、子どもの「主体性」「工夫」が育っています。

7月3日は待ちに待った夏祭り本番です。こども園では毎日子ども達の元気な掛け声が響いています。3・4・5歳児クラスのお兄さん・お姉さんが踊る姿は小さいクラスのお友だちの憧れの的で、練習する姿を真似ながら一緒に踊ったりと、園全体で夏祭りに向けた気持ちが高まっています。本番もどうぞ宜しくお願いします。

【7月の予定】

- 3日(土) 夏祭り
- 7日(水)～21日(水) 個別面談
- 7日(水) 七夕誕生会
- 8日/15日(木) 学びタイム(5歳児)
- 13日(火) サッカー教室(5歳児)
- 16日(金) 体操教室フリー参観(3・4・5歳児)
- 19日(月) 幼年消防クラブ入団式(4・5歳児)
- 21日(水) 避難訓練
- 29日(木) 科学教室(4歳児)
- 30日(金)～31日(土) お泊り保育(5歳児)



【8月の予定】

- 3日(火) 誕生会
- 4日(水) 交通安全教室(3・4・5歳児)
- 6日・27日(金) 体操教室(3・4・5歳児)
- 26日(木) 学びタイム(5歳児)
- 31日(火) 避難訓練

10日(火)～20日(金) 1号認定夏季休暇



ご家庭で出来る

「非認知能力」

を育てる遊び

◎アタッチメントが基盤

非認知能力を育てる際、第一に大切なのは「大人に愛されて、無条件に受け入れられる」という経験を、赤ちゃん時代から得る事です。そこから生まれる信頼感や絆の事を「アタッチメント」と言います。子どもはありのままの自分を温かく受け止めてくれる大人がいる事で、自分の気持ちをコントロールして、自発的に物事に取り組むようになります。勿論、いつも受け入れるばかりではいられませんが、「子どもの気持ちに寄り添う関わり方」が非認知能力を伸ばす事に繋がります。

水遊び



砂に染み込み、虹を作り、温かいお風呂にもなり…。水はその形態を多様に変える物質です。つまり関わり方によって様々に変化するので、決まった遊び方しか出来ない物よりも、工夫やアイデアが生かされるのです。その試行錯誤の時間はかけがえのないものです。

「一緒にどろんこ遊び」

作ったり、壊したり、砂場はとても自由度の高い遊び場です。水と組み合わせる事で、「固める」「流す」等、遊びの幅、そして子どもの「工夫」試行錯誤の幅も広がります。



「昔懐かしい遊び」

お花を使った色水作りに興味を持ったら、りんご、みかん等果汁を絞って筆で白い紙に絵を描き、火であぶると絵が浮き上がる「あぶりだし」も楽しいですよ。こんな所から、化学への好奇心も育まれていくのかもしれない。また、水風船も人気。小さな子なら持つだけでも、大きな子は水風船合戦で、様々な楽しめますよ。



おまけ

- ★汗をかいたら着替えが出来るように衣服や汚れ物を入れるビニール袋の補充や、汗拭きタオルのご用意を宜しくお願い致します。
- ★こども園では、室温を26℃～28℃に設定しています。外気温との温度差を5℃程度にし、子ども達が自ら体温調節が出来るように、環境を整えていきたいと思っております。



6月の子ども達の姿

毎月2クラスずつ紹介していきます。

ひよこ組

- 保育教諭との触れ合い遊びや、探索活動を楽しむ。
(6月のねらいより)
- ・園での生活にも慣れてきて、触れ合い遊びをすると笑ってくれたり、周囲の環境に対する興味が高まり、様々な方法(叩く、引っ張る、振る等)で触れて遊んだりする様子が見られるようになってきました。



「いないいない…ばあっ！」保育教諭の顔が見えると声を出しながら笑ってくれています。

床や壁等の場所に、見て・触れて楽しめる感触遊びスポットを作っています。叩いたり、押ししたり、「あっ」と発見をお話してくれています。



ソフト積み木を発見し、よじ登ろうとしたり、持ってみようとしたり…体もたくさん動かして遊んでいます。

きりん組

- 気のあった友達と関わりを持ちながら、遊びを広める。
(6月のねらいより)
- ・仲良しのお友達が増え、「一緒に鬼ごっこしよう」と複数の友達と遊びを楽しんでいます。また、「図鑑に載ってた虫かも」と友達と相談して知識を深める姿や「次は〇〇ちゃんが鬼ね」と子ども達で遊びを広げる姿があります。



築山がいっぱいになるほど友達を集めて、笑顔で会話を楽しんでいます。

子ども達で相談して鬼を決めて、鬼を交代しながら遊んでいます。



「私がママね」と友達とお話しながら役割を決め、ごっこ遊びを楽しんでいます。

